

千葉市文化芸術振興計画年次報告書(平成21年度実施状況及び平成22年度実施計画)

基本施策1 文化芸術をはぐくむまちづくり

(1)文化芸術の創造と発信

No.	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
◎ 1	①	国際文化フェスティバル	「市民の日」関連行事及び国際都市・千葉をアピールするために、実行委員会を組織し、姉妹・友好都市から文化芸能団を招き、国際理解を深める。	その他 千葉市国際文化フェスティバル実行委員会、(財)自治総合センター	総務局 市長公室 国際交流課	開催日：平成21年10月18日(日) 会場：千葉市民会館 内容：ノースバンクーバー市文化芸術団公演 来場者数：902人	来場者数の増加 (平成20年度 806人)	開催日：平成22年10月17日(日) 会場：千葉市民会館 内容：姉妹友好都市関連アーティストによるコンサートや市民団体とのコラボレーション・国際理解講座	来場者数の維持 (平成21年度 902人)	総事業費 11,600	総事業費 4,900	A
◎ 2	①	千葉市民芸術祭	千葉市文化連盟が、市内文化施設において行う茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術などの活動に対して支援を行う。	その他 千葉市文化連盟	市民局 生活文化部 文化振興課	開催日程：平成22年2月21日(日)：開幕式典の開催 平成22年2月27日(土)～3月28日(日)：各種行事 会場：千葉市民会館ほか、市内9会場で開催 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で計18行事を開催 来場者数：43,647人	来場者数：45,000人	開催日程：平成23年2月下旬～3月下旬開催予定 会場：千葉市民会館ほか市内各会場で開催予定 内容：千葉市文化連盟に所属する団体が、茶華道、文芸、音楽、伝統芸能、演劇、美術の6分野で行事を開催予定	来場者数の増加 (平成21年度 43,647人)	総事業費 15,906	総事業費 16,654	B
◎ 3	①	ベイスайдジャズ千葉	街の活性化のため、ジャズストリートやコンサート・ワークショップを開催(平成11年～)	その他 (財)千葉市文化振興財団、ベイトジャズ千葉実行委員会	市民局 生活文化部 文化振興課	JR千葉駅～中央公園・文化センター周辺を中心に各種ジャズイベントを開催した。総来場者数 14,684人 ・ジャズパレード(8月23日 フリーマーケットの中で実施) 500人 ・デモンストレーション2回(7月25日、8月30日) 350人 ・ジャズトレイン(8月30日) 1日2往復 58人 ・スターダスト“キッズ”キャズ(8月29日) 204人 ・前夜祭コンサート(9月4日) 文化センターほか 457人 ・ジャズストリート(9月5、6日) 2日間 12,650人 ・ジャズボーカル講座(7月25日、8月15日、8月29日) 講師 大原保人ほか 受講生 54人 ・“キッズ”ジャズクリニック(7月30日、8月24日 / 8月6日、9月6日) 61人 ※市内中学校2校で実施し、プロの音楽家による指導を行った後、ジャズストリートにて成果を発表した。 ・キッズふれあいコンサート(9月6日) 350人	総来場者数：13,000人 ジャズボーカル講座 受講生：60人(定員)	平成22年度は「ゆめ半島千葉国体」とタイアップし、開催時期を国体とあわせ、例年の中央地区に加えて、会場をJR海浜幕張駅周辺に拡大して実施する。 ・ジャズパレード(10月2日) ・デモンストレーション(中央地区：7月31日、8月28日、9月12日、9月26日 幕張地区：10月1日) ・ジャズトレイン(9月26日) 1日2往復 ・前夜祭コンサート(10月1日) 文化センター ・ジャズストリート(10月2、3日) 2日間 10月2日は幕張会場においても実施 ・ジャズボーカル講座(全3回) 定員50人 講師 大原保人ほか ・ふれあい音楽クリニック(8月～9月の間の4日間) ※市内の小・中・高校生を対象に募集し、プロの音楽家による指導を行った後、ジャズストリートにて成果を発表する。 ・ふれあい音楽コンサート(10月3日)	総来場者数：20,000人 ジャズボーカル講座 受講生：50人(定員)	総事業費 13,335	総事業費 15,697	B
◎ 4	①	東京フィルハーモニー交響楽団提携事業	東京フィルハーモニー交響楽団と提携し、定期演奏会や無料のコンサート等を実施	市 (財)千葉市文化振興財団に委託	市民局 生活文化部 文化振興課	・定期演奏会 4回 来場者数2,801人 9月18日(金)、11月27日(金)、1月22日(金)、3月19日(金) 京葉銀行文化プラザ ・ミニコンサート 7回 来場者数1,180人 1 4月5日(日) 千葉そごう9F滝の広場 2 5月23日(土) あずみが丘プラザ1Fロビー 3 7月18日(土) 幕張ニューシティセンター多目的室 4 9月13日(日) 花の美術館モネサロン前 5 10月4日(日) 動物公園レクチャールーム 6 12月12日(土) 千葉市女性センター ホール 7 3月22日(月・祝) 稲毛サティ ・名曲コンサート 来場者数452人 12月15日(火) 市民会館 ・はじめてのオーケストラコンサート 来場者数514人 2月21日(日) 若葉文化ホール 総来場者数：4,947人	総来場者数の増加 (平成20年度 4,488人)	・定期演奏会 2回 11月5日(金)、3月11日(金) 京葉銀行文化プラザ ・ミニコンサート 2回(中央区、稲毛区)	1回あたり来場者数の増加 (平成21年度 定期演奏会 700人 ミニコンサート 168人)	総事業費 29,962	総事業費 10,000	B

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
				市の関わり								
◎	5	① 舞台芸術鑑賞事業	優れた音楽、演劇等の鑑賞機会を定期的に提供することと伝統芸能の継承を目的として、舞台芸術公演を実施	(財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	<p>○舞台芸術鑑賞事業</p> <p>市民会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋川雅史コンサート「一期一会」(7月17日) ・アニソングラス(12月23日) ・クラシカルセレクション高嶋ちさ子コンサート(3月14日) <p>文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中西圭三&SEASONS(4月24日) ・白石加代子「百物語」シリーズ第26夜(6月4日) ・日本・中国共同制作人形劇「三国志」(7月11日) ・演劇「遊った男の残したものは」(12月2日) <p>京葉銀行文化プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳田雄一郎ライブ「RALYZZ DIG」(4月17日) ・胡琴来舞2009(5月15日) ・奥村愛ウァイオリンコンサート(6月12日) <p>○伝統文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和音の楽しみ2「べらぼうにぶらぼう」(11月21日) 文化センター ・能公演&能楽体験講座 講座全10回(10月24・31日、11月7・21日、12月5・12・19日、1月9・16・23日)文化センター 能公演(1月30日)市民会館 ・わかばフレッシュ落語会(7月4日、10月17日、11月20日、12月11日、1月15日) 若葉文化ホール ・若葉寄席(1月23日)若葉文化ホール <p>○舞台芸術創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一五一会講座(6月19・26日、7月3・10・17・24日) 文化センター ・一五一会!夏物語フェスタ2009(8月1日)文化センター ・青島広志のみんな音楽の仲間たち合唱団クリニック(2月6、20日)打瀬公民館、ハーモニープラザ ・青島広志のみんな音楽の仲間たち「青い鳥はどこにいる」(3月7日)市民会館 <p>参加者数:6,861人</p>	参加者数:6,000人 (平成20年度 5,291人)	<p>○創造事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エイサー太鼓講座(4~7月全10回)市民会館 ・おやしパン'クリニック(6~7月全4回)文化センター ・沖繩コンサート琉球物語~エイサー太鼓の達人~(8月7日)若葉文化ホール ・「ト」山口&東京ペンチャーズ「Oh!」夏の陣オールデイズ祭(9月5日)文化センター <p>○伝統文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新春能 ほか 	平均入場率 70%	総事業費 37,780	総事業費 13,066	B
◎	6	① 美術館展示	優れた美術品の鑑賞機会を多くの市民に提供するため、来館者の希望や開催意義などを考慮しつつテーマを設定し、それに基づいた展示を行う。また関連する講演会や講座、イベントなどを開催する。	(財)千葉市教育振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	<p>企画展の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大和し美し 川端康成と安田毅彦 4月4日(土)から5月10日(日) 2 パウル・クレー 東洋への夢 5月16日(土)から6月21日(日) 3 瀧澤久仁子コレクション 折りをつづる染と織-タイの美しい布 6月27日(土)から8月9日(日) <p>講演会等の実施</p> <p>企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施</p> <p>所蔵作品を中心としたテーマ展を5本実施(このうち3本は、空調改修工事のためさや堂ホール、郷土館、市民ギャラリー-いながで開催)</p> <p>平成22年度開催の展覧会の準備を行った。 ※9月から2月まで空調改修工事のため展示室は休室</p> <p>展覧会総入場者数 59,525人 (H21年9月~H22年2月まで空調工事があり、その間に企画展、所蔵作品展が開催できないため、入場者が減少した。)</p>	展覧会総入場者数: 68,500人	<p>企画展「伊藤若冲ー アナザーワールドー」展 ほか5展覧会を実施</p> <p>所蔵作品展「江戸みやげ~所蔵作品名品選」 ほか4展覧会を実施</p> <p>講演会などー企画展会期中を中心として、各種講演会、講座などを実施</p>	展覧会総入場者数: 96,000人	総事業費 93,487	総事業費 125,509	B
◎	7	① 大道芸フェスティバル inちば (ちば大道芸の日)	毎月第4日曜日に、中心市街地において、大道芸人によるパフォーマンスを楽しめるイベントを開催する。	大道芸フェスティバル inちば実行委員会	経済農政局 経済部 経済企画課	<p>開催日:4月26日(日)・5月24日(日)・6月28日(日)・7月19日(日)・8月23日(日)・9月27日(日)・10月18日(日)・11月22日(日)・12月20日(日)・1月24日(日)・2月28日(日)・3月28日(日)(大道芸フェスティバル inちば)</p> <p>会場:千葉銀座通り・きぼーる他</p> <p>内容:出演芸人延べ48組</p> <p>観覧者数:20,260人</p>	観覧者数:20,000人	<p>開催日:4月25日(日)・5月23日(日)・6月27日(日)・7月25日(日)・8月29日(日)・9月26日(日)・10月17日(日)・11月28日(日)・12月26日(日)・1月23日(日)・2月27日(日)・3月27日(日)</p> <p>会場:千葉銀座通り・きぼーる他</p> <p>内容:出演芸人延べ32組</p>	観覧者数:25,000人	総事業費 1,012	総事業費 0	B

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市	市の関わり								
8	②	シティセールス推進事業	本市の魅力を発掘・育成し、効果的な情報発信を行う。	市	総合政策局 市民自治推進部 広報課	開催日:平成21年7月21日(火)~24日(金) 場 所:ふるさと情報プラザ(有楽町) 内 容:シティセールスキャンペーン活動におけるミニジャズコンサート・ポスター掲出 開催期間:4日間 来場者数:3,440人	開催期間:4日間	開催日:平成22年7月8日、9日 場 所:日本橋イベントスペース 内 容:シティセールスキャンペーン活動におけるミニジャズコンサート・ポスター掲出	開催期間:2日間	総事業費 284	総事業費 590	A	

(2)まちづくりと文化の連携

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市	市の関わり								
1	①	中央区ふるさとまつり	中央区ふれあい事業の一環として、お年寄りから子どもまで、幅広い年齢層が参加でき、各種団体及び町内自治会の交流や連帯意識を醸成することを目的として、区民による手づくりのまつりを開催する。	その他 中央区ふるさとまつり実行委員会 補助金	中央区 地域振興課	開催日時:平成21年10月18日(日) 午前10時~午後4時 会場:中央公園、文化センター・アートホール 内容:【中央公園】 ・特設ステージでの音楽演奏、伝統芸、和太鼓など ・各種団体の出店など 【文化センター・アートホール】 ・ダンス、音楽演奏など 来場者数:85,000人	来場者数の増加 (平成20年度 60,200人)	開催日時:平成22年10月17日(日) 午前10時~午後4時 会場:中央公園、文化センター・アートホール 内容:【中央公園】 ・特設ステージでの音楽演奏、伝統芸、和太鼓など ・各種団体の出店など 【文化センター・アートホール】 ・ダンス、音楽演奏など	来場者数の増加 (90,000人) (平成21年度 85,000人)	総事業費 4,172	総事業費 3,805	B	
2	①	花見川区民ふれあい事業(花見川区民まつり)	花見川区内の各種団体の代表者等により花見川区民まつり実行委員会を組織し、まつりを開催する。 区民相互の協調と親睦・区民意識の醸成及び高揚を図り、地域社会の発展に寄与する。	その他 花見川区民まつり実行委員会 補助金	花見川区 地域振興課	開催日:平成21年10月18日(日) 会場:花鳥公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、展示PRコーナー 入場者数:57,000人	入場者数の増加 (平成20年度 55,000人)	開催日:平成22年10月中旬 会場:花鳥公園他 内容:文化的イベント、スポーツイベント、子どもイベント、展示PRコーナー	入場者数の増加 (58,000人) (平成21年度 57,000人)	総事業費 4,370	総事業費 3,892	B	
3	①	稲毛区民まつり	区民と関係団体が連携し、それぞれの区の地域特性を活かした多彩な催しを展開する「区民まつり」を開催することにより、主催者との連帯感の高揚と区民意識の醸成を図る。	その他 稲毛区民まつり実行委員会 補助金	稲毛区 地域振興課	開催日時:平成21年10月18日(日)午前9時10分~午後3時 会場:穴川中央公園等 内容: ＜文化的イベント＞ 稲毛区民音頭・お神楽・太鼓・マーチングバンド・フラダンス等 ＜子供向けイベント＞ 竹馬づくり・ミニSL・クラフトづくり・輪投げゲーム・ミニ凧づくり等 ＜体験イベント＞ はしご車体験・起震車体験 ＜スポーツイベント＞ グラウンドゴルフ・JEFキックターゲット等 ＜その他＞ CAPおとなワークショップ・模擬店・抽選会・千葉ロッテM★Splashショー 来場者数:48,000人	来場者数:47,000人	実行委員会へ近隣大学等に企画から参加してもらい、実施内容など見直す予定 詳細については、未定	来場者数の増加 (平成21年度 48,000人)	総事業費 4,178	総事業費 3,578	A	
4	①	若葉区民まつり	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会が、区の特性を活かしたイベントを実施し、フリーマーケット、スポーツ大会、区民手作りの区民音頭の発表と区民一体となり実施する。	その他 若葉区民まつり実行委員会 補助金	若葉区 地域振興課	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会が、区の特性を活かしたイベントを実施し、フリーマーケット、スポーツ大会、区民手作りの区民音頭の発表と区民一体となり実施 開催日:11月1日(日) 内容: (1)千城台公園 145団体 ・舞台演技等 21団体 ・子供広場 4団体 ・フリーマーケット 78店舗 ・模擬店 19店舗 ・行政・企業PR 21団体 ・産地直送市 2団体 (2)スポーツイベント 72団体 ・バレーボール大会 20団体 ・ソフトボール大会 9団体 ・ゲートボール大会 11団体 ・グラウンドゴルフ大会 32団体 来場者数:54,000人	来場者数:48,500人	若葉区内各種団体の代表者により組織された実行委員会が、区の特性を活かしたイベントを実施し、フリーマーケット、スポーツ大会、区民手作りの区民音頭の発表と区民一体となり実施 開催日:11月7日(日)予定 内容: (1)千城台公園 ・舞台プログラム ・子供広場 ・フリーマーケット ・模擬店 ・行政・企業PR ・産地直送市 (2)スポーツイベント ・家族バレーボール大会 ・ソフトボール大会 ・ゲートボール大会 ・グラウンドゴルフ大会	来場者数:54,500人	総事業費 4,016	総事業費 3,390	B	
5	①	緑区ふるさとまつり	緑区内の各種団体の代表者で組織された実行委員会が、区民相互の協調と親睦、また、区民意識の醸成及び高揚を図ることを目的に、11月の第1日曜日に子どもからお年寄りまですべての人が気軽に参加できる手作りイベントを開催する。	その他 緑区ふるさとまつり実行委員会 補助金	緑区 地域振興課	開催日:平成21年11月1日(日) 会 場:昭和の森 内 容:ステージ 23組+ゲスト1人 模擬店 19店 フリーマーケット 132組 行政団体 16機関 軽スポーツ及び伝承遊び等 17種目 来場者数:52,500人	来場者数の増加 (平成20年度 51,700人)	開催日:未定(例年11月第1日曜日) 会 場:昭和の森 内 容:ステージ 模擬店 フリーマーケット 行政団体 軽スポーツ及び伝承遊び等(参加無料)	来場者数の増加 (平成21年度 52,500人)	総事業費 3,899	総事業費 3,730	B	

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市	市の関わり								
6	①	美浜区民フェスティバル	地域の活性化と区民意識の醸成を図り、区の特性を活かした魅力あるまちづくりに寄与することを目的とした「区民ふれあい事業」の一環として、開催されている。区内各種団体より推薦を受けた実行委員で構成される実行委員会の主催により、毎年10月の第1日曜日に開催され、子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントとして大勢の方が参加している。	その他 美浜区民フェスティバル実行委員会 補助金	美浜区 地域振興課	「第17回美浜区民フェスティバル」 日時:10月4日(日) 午前9時50分～午後3時30分 会場:稲毛海浜公園 来場者数:67,000人 内容: 出店分科会/模擬店27店、フリーマーケット130店 音楽分科会/中学校・高等学校11校(出演者337人) レクスボ分科会/ハン食い競争、昔の遊び、創作遊び、レクリエーションスポーツ、音楽劇、他 祭り分科会/太鼓・神輿・踊り・ダンス24団体(出演者914人) 文化分科会/呈茶席(入席者650人) 公共公益団体/15団体	子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントの実施	「第18回美浜区民フェスティバル」 日時:10月3日(日) 午前9時50分～午後3時30分 会場:稲毛海浜公園 内容: 出店分科会/模擬店、フリーマーケット 音楽分科会/中学校・高等学校 レクスボ分科会/ハン食い競争、昔の遊び、創作遊び、レクリエーションスポーツ、音楽劇、他 祭り分科会/太鼓・神輿・踊り・ダンス 文化分科会/呈茶席 公共公益団体	子供からお年寄りまで気軽に参加できる区民手づくりのイベントの実施	総事業費 5,092	総事業費 5,000	B	
7	①	美浜夕やけコンサート	地域の活性化と区民意識の醸成を図り、区の特性を活かした魅力あるまちづくりに寄与することを目的とした「区民ふれあい事業」の一環として、開催している。平成5年度より、毎年9月の第2金曜日に開催し、秋の夕暮れのひとつときに、さわやかな音楽を楽しんでもらう。また、来場者アンケートにより、毎年ジャンルを変え、幅広い音楽を提供している。	市	美浜区 地域振興課	「第15回美浜夕やけコンサート」 日時:9月11日(金) 午後6時30分～午後8時 会場:美浜文化ホール ジャンル:クラシック 入場者数:325人(はがきでの応募、抽選)	入場者数の増加 (平成20年度 332人)	開催予定なし	開催予定なし	総事業費 540	総事業費 ー	B	
8	①	けやきコンサート	音楽演奏会「けやきコンサート」を通して、市民に対し火災予防対策等についての認識と併せ向上を図る。	市	消防局 予防部 予防課	5月から7月と10月から12月の第2週の水曜日の昼休みの30分間コンサートを実施 5月13日(水) 中央公園 6月10日(水) JR千葉駅東口広場 7月8日(水) 中止 10月14日(水) 生涯学習センター 11月11日(水) 中止 11月28日(水) 中央公園	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。	5月から7月と10月から12月の第2水曜日に30分間(12:15～12:45)コンサートを実施する。 中央公園 1回 JR千葉駅東口広場 2回 生涯学習センター 2回 稲毛区役所前広場 1回	消防音楽隊と市民のふれあう機会をつくり、より多くの市民に音楽を通じたコミュニケーションで火災予防普及を図る。	総事業費 0	総事業費 0	B	
9	①	千葉市民芸術祭(再掲)	※1(1)2 参照 (1ページ)										
10	①	舞台芸術鑑賞事業(再掲)	※1(1)5 参照 (2ページ)										
◎	11	① ②	千葉の親子三代夏祭り	千葉市を美しくする会が、市民意識・ふるさと意識の高揚を図るために、市民総参加のもと実施するまつり	その他 千葉市を美しくする会 補助金	市民局 市民部 地域振興課	1 前夜祭 日時:8月15日(土)午後1時～8時15分 会場:中央公園 内容:国体ダンスコンテスト、bay fmサマーキャンペーンスペシャルイベント、屋台村 入出:25,000人 2 本祭り 日時:8月16日(日) 午前11時～午後8時15分 場所:中央公園・栄町通り・千葉銀座通り・パルコ前中央一番街・きぼーるアトリウム 内容:パレード、みこしだし、よさこい、太鼓、千葉おどり 他 入出:35万人	入出の増加 (平成20年度 ・前夜祭 12,000人 ・本祭り 33万人)	1 前夜祭 日時:8月21日(土) 午後1時～午後8時15分 会場:中央公園 内容:ちば和太鼓まつり、屋台村 他 入出予想:25,000人 2 本祭り 日時:8月22日(日) 午後1時～午後8時15分 場所:中央公園・栄町通り・千葉銀座通り・パルコ前中央一番街・きぼーるアトリウム 内容:パレード、みこしだし、よさこい、太鼓、千葉おどり 他 入出予想:35万人	入出の増加 (平成21年度 ・前夜祭25,000人 ・本祭り 35万人)	総事業費 15,781	総事業費 14,899	A
◎	12	②	千葉アートネットワーク・プロジェクト(千葉大学との連携事業)	大学、美術館、商店街などの多岐にわたる様々な分野の団体が連携して、アーティストと市民が「アートと千葉の新たな結びつき」をともに模索していくプロジェクト	その他 千葉アートネットワーク・プロジェクト実行委員会 補助金 その他	市民局 生活文化部 文化振興課	・PIKAPIKA in CHIBA(アーティスト/TOCHKA) 千葉市美術館ほか、中心市街地にて実施 市民向けワークショップ等を実施し、市内各所で撮影を行い、光の軌跡で描くアニメーションによる映像作品を制作した。 参加人数:370人 ・かえっこバザール(アーティスト/藤浩志) 高洲・高浜団地内および近隣地区にて実施 アーティストの考案した仕組み「かえっこ」により、いらなくなったおもちゃを使った子どもたちの遊び場を創出 参加人数:150人 ・EAST MEETS EAST(アーティスト/マイケル・ニーダム、アシュリー・マコーミック、丸山純子)/NPO法人ちば地域再生リサーチとの協力により、高洲・高浜団地にて実施 ロンドンで活動する二人のアーティストを迎え、滞在制作による地域住民との交流プログラムおよびWICANアートセンターにてシンポジウムを行った。 参加人数:40人 ・CHAIRTALK 栄町のWICANアートセンターにて実施 昨年度に引き続き、ゲストを迎えたトークイベント(5組6人)を行った。 参加人数:185人 ・WICAN2009交流会 参加人数:40人 ・WICAN2009ドキュメント展示(千葉市美術館) 参加人数:30人 ほか、ワークショップなどを実施	地域の子どもたちを対象としたワークショップや地域とアートの問題をテーマとするシンポジウムを開催し、多様な世代が気軽に文化に参加できる土壌の形成を図る。	コミュニティにおける「学校」の役割や期待されるかたちについて「空き教室」、「居場所づくり」をキーワードに、国内外の事例リサーチを進め、ソフト面およびハード面でのモデルプランづくりを進める。平行して、アーティストによるワークショップを行い、アートを介した学校の活性化の可能性を市民とともに考えていく。	平成23年度以降に向けて学校を活用した文化拠点形成の計画を策定する。	総事業費 3,854	総事業費 1,500	B

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価	
				市の関わり									
◎	13	②	千葉公園 「写真と楽しむ 俳句展」	千葉公園の魅力を多くの人に 知ってもらうため、千葉公園の情 景をテーマにした俳句と俳句を詠 んだ情景の写真を市民から募集 し、千葉公園の蓮華亭に展示す る。	市	都市局 公園緑地部 中央・稲毛 公園緑地事務所	募集期間:平成21年10月15日(木)～12月18日(金) 展示期間:平成22年1月16日(土)～2月26日(金) 展示場所:千葉公園内 蓮華亭 展示点数:俳句と写真のセットで35点	事業の実施	写真展、絵画展などその他の企画も含めて引き続き実施する。	市民主催の展示を実施する。	総事業費 0	総事業費 0	B
◎	14	②	ベイスайдジャズ千 葉(再掲)	※1(1)3 参照 (1ページ)									
	15	③	都市景観 市民フェスタ	都市景観市民フェスタ実行委員 会により、都市景観に対する市民 意識啓発のため、各種イベントを 実施する。(平成12年～)	その他 都市景観市民フェ スタ実行委員会	都市局 都市部 まちづくり推進課	開催日(メイン期間):10月3～4日 会場:千葉駅前地下道、中央公園プロムナード、中央公園 内容: ・オープンカフェ 来場者数 6,083人 4月25日～8月14日 ・ウォールバスケット 参加人数 86人 制作講習会(5月16～17日)、展示(5月25～31日)、 審査(5月25日)、表彰式(5月30日) ・パラソルギャラリー 参加団体数 54団体 出展者募集(7月15日～8月31日)、出展(10月3～4日) ・フォトメッセージ 応募作品数 34作品 作品募集(7月15日～9月10日)、展示(10月3～4日) ・花のキャンパス展示(10月2～8日) リフト利用者数 577人 花苗再利用者への配布(10月9日、14団体)	参加者数・協力者数の増加 (平成20年度 ・オープンカフェ 来場者数:20,063人 ・ウォールバスケット参加人数:97人 ・パラソルギャラリー参加団体数:51 団体 ・「テオスタジアム」参加チーム数:5チ ーム ・フォトメッセージ 応募作品数:18点 ・花のキャンパス展示 リフト利用者数:1,559人)	パラソルギャラリー実施に向けて調整中	長期的目標を視野に入れ、市民 主体で実施可能な規模での開 催を目標とする。	総事業費 6,714	総事業費 0	B
	16	③	千葉市 優秀建築賞	優れた都市景観の形成に寄与し ていると認められる建築物を表彰 することにより、建築文化の向上 と都市景観に対する市民意識の高 揚を図り、もって魅力ある街づく りに資することを目的に行う。	市	都市局 建築部 建築指導課	内容: ・募集期間 6月1日～7月31日 ・選考委員会 3回(4月20日、9月2日、10月1日) ・中心市街地情報発信事業への掲載 6月18日～7月31日 ・表彰式・シンポジウム(生涯学習センター) 12月21日 ・受賞作品パネル展(生涯学習センター) 12月14～25日 ・受賞作品パネル展(モノレール千葉駅) 12月14～25日 応募件数:55件 シンポジウム入場者数:約200人	応募件数の増加(55件) シンポジウム入場者数の増加 (約250人) (平成20年度 応募件数:53件 シンポジウム入場者数: 約200人)	内容: ・募集期間 9月1日～10月31日 ・選考委員会 3回(1月、2月、3月) ・中心市街地情報発信事業への掲載 9月1日～10月31日 ・表彰式・シンポジウム(生涯学習センター) 3月 ・受賞作品パネル展(生涯学習センター) 3月 ・受賞作品パネル展(モノレール千葉駅) 3月	応募件数の増加(60件) シンポジウム入場者数の増加 (約250人) (平成21年度 応募件数:55件 シンポジウム入場者数: 約200人)	総事業費 2,027	総事業費 908	B
	17	③	中央公園 フラワー フェスティバル	花のあふれるまちづくりの一環 として、賑わいのあるまちづくり を創出するために、中央公園・中 央公園プロムナードを中心に、千 葉市の花の祭典「中央公園フラ ワーフェスティバル」を開催す る。	市	都市局 公園緑地部 緑政課	中央公園フラワーフェスティバル 期間:5月3日～6月9日 ・みどり花の催し 5月3～4日 ・花いっぱい花壇コンテスト 5月15日～6月3日、参加団体 20団体 ・手づくりビアリーの展示 70基 (内千葉銀座通り2基、きぼーる前5基) ・第40回花季草月展示会 6月4日～6月9日 ※出店団体 16団体 (押し花、生花、フラワーアレンジメント、クラフト他) ※5月3日～6日は、千葉市内の飲食店とバンド (食楽ICHIBA)と同時に開催 来場者数:16,700人	来場者数:17,000人	休止	休止	総事業費 4,834	総事業費 -	A
	18	③	チューリップ まつり	「花を育て、綺麗に咲かせるこ と」で「人と人とのふれあいの 輪」が広がり、学校と地域や家庭 が協力して花を育てることによ り、地域社会の発展に寄与するこ とを目的に、地域ボランティアの 方々が実行委員として、4月に チューリップまつりを開催	その他 野馬の里委員会	緑区 地域振興課	-		・チューリップまつり 開催日:平成22年4月18日(日)予定 会 場:ふれあい広場「野馬の里」 内 容:ステージ・模擬店・花摘み ・球根の植え付け(チューリップ) 実施日:平成22年11月上旬 場 所:ふれあい広場「野馬の里」 内 容:近隣の小・中学校生徒・幼稚園児及びボランティア による球根の植え付け作業	近隣小・中学校と地域の結びつ きをより密接に	総事業費 -	総事業費 1,732	-

(3) 伝統文化の継承・発展

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市の関わり								
1	①	郷土芸能発表会	神楽・お囃子等の市内に伝わる郷土芸能の発表会	その他 千葉市郷土芸能保存協会 ----- 負担金	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	開催日:平成22年3月14日 会場:美浜文化ホール 内容:郷土芸能保存協会に属する団体の1年間の成果を発表した。 参加者数:387人	参加者数の増 (平成20年度 321人)	開催日:平成23年3月13日 場所:美浜文化ホール 内容:郷土芸能保存協会に属する団体の1年間の成果を発表する。	入場者数の増加 (平成21年度 387人)	総事業費 308	総事業費 未定	B
◎	2	① ②	ふるさと教室	市	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	検見川神社神楽囃子連、矢作囃子保存会がそれぞれ12回実施した。 検見川神社神楽囃子連 8月8・22日、9月5・19日、10月3・17日、 11月7・21日、12月5・19日、1月9・23日 矢作囃子保存会 8月22・29日、9月12・26日、10月3・24日、 11月14・29日、12月12・19日、1月9・16日 参加者数:194人	参加者数の増 (平成20年度 138人)	検見川神社神楽囃子連、矢作囃子保存会がそれぞれ8回実施する。	参加者数の増加 (平成21年度 194人)	総事業費 384	総事業費 256	B
◎	3	① ②	舞台芸術鑑賞事業 (再掲)	※1(1)5 参照 (2ページ)								
◎	4	②	郷土芸能の後継者養成	その他 千葉市郷土芸能保存協会 ----- 補助金	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	千葉市郷土芸能保存協会加盟団体(12団体)が、それぞれ後継者育成事業を行った。 参加者数:233人	参加者数の増 (平成20年度 223人)	千葉市郷土芸能保存協会加盟団体(12団体)が、それぞれ後継者育成事業を行う。	参加者数の増加 (平成21年度 233人)	総事業費 817	総事業費 未定	B

基本施策2 文化芸術に親しむ市民の裾野の拡大

(1) 文化施設の魅力向上

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市の関わり								
1	①	ミュージアムトライアングル連携事業	郷土博物館、美術館、科学館の3つのミュージアムが連携し、ネットワークを強化することで、文化に触れやすく楽しめる環境づくりを推進する。	市	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	・展示、講座、ワークショップ等におけるネットワークの強化 ・郷土博物館、美術館、科学館の3館の入館チケット持参者に対して、相互割引を行った。(平成21年2月事業開始) ※3館相互割引の利用者数 232人(平成21年4月～平成22年3月)	ミュージアムトライアングル連携事業等の一体的な展開による利用者の1割増	・展示、講座、ワークショップ等におけるネットワークの強化 ・郷土博物館、美術館、科学館の3館の入館チケット持参者に対して、相互割引を行う。	ミュージアムトライアングル連携事業等の一体的な展開による利用者の増加 (平成21年度 232人)	総事業費 0	総事業費 0	B
◎	2	① ②	美浜マンスリー・クラシック	その他 アートウインド運営企業	市民局 生活文化部 文化振興課	毎月、その月に誕生した偉大な音楽家・芸術家の作品を集めてのクラシックコンサートを開催 全12回、毎月木曜日 会場:美浜文化ホール 音楽ホール 4月30日 ラフマニノフ他 247人 5月28日 ブラームス他 150人 6月18日 シューマン他 150人 7月30日 グルック他 142人 8月27日 瀧廉太郎他 297人 9月17日 ガーシュイン他 208人 10月29日 サン＝サーンス他 124人 11月26日 ドニゼッティ他 236人 12月17日 ベートーヴェン 212人 1月26日 モーツァルト他 245人 2月25日 メンデルスゾーン 244人 3月25日 ショパン・バッハ他 287人	①音楽ホールの平日有効活用策としての開催、自主事業としての定期公演を実施。平日の音楽ホールの有効活用施策とする。 ②市民の声を反映させたクラシック公演の実現、市民から多数寄せられていた、“本格的クラシックコンサート”の定期開催の実現。クラシック愛好家と初心者、双方にご満足頂けるテーマとクオリティを持ったコンサートを定期開催する。	『美浜フォーシーズンクラシックス』(仮) 四季折々に表情を変える日本の景色を、クラシックやミュージカル音楽の名曲たちで表現。音楽ホール(150席)からメインホール(350席)に場所を変え、日本の四季を奏でる。	入場者数: 1公演あたり320人	総事業費 3,140	総事業費 3,800	A
◎	3	① ②	美浜アートレクチャーなるほど! Theライブ	その他 アートウインド運営企業	市民局 生活文化部 文化振興課	平成21年12月～平成22年5月までの期間中、5回実施 平成21年度は3回実施 会場:美浜文化ホール メインホール 内容:各回3部構成 第1部 出演者によるレクチャー・講座・語りなど 第2部 実演による様々な表現を披露、魅力紹介 第3部 コンサート 平成21年12月22日 JAZZ 276人 平成22年1月16日 落語 232人 平成22年3月19日 日本舞踊 264人	入場者数: 1公演あたり300人 地域の皆様に、芸術の素晴らしさを学んでいただくことにより、芸術文化の必要性、さらには公共ホール的重要性を知っていただく。	平成21年度に引き続き、2回実施 会場:美浜文化ホール メインホール 内容:各回3部構成 第1部 出演者によるレクチャー・講座・語りなど 第2部 実演による様々な表現を披露、魅力紹介 第3部 コンサート ※5月の回は第3部にフィルムコンサートを開催 平成22年4月23日 クラシック「室内楽で感じる、クラシックの世界」 平成22年5月22日 J-POP「J-POPの女王 “美空ひばり”	入場者数: 1公演あたり300人 地域の皆様に、芸術の素晴らしさを学んでいただくことにより、芸術文化の必要性、さらには公共ホール的重要性を知っていただく。	総事業費 3,180	総事業費 1,580	A

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
◎	4	① ②	舞台芸術鑑賞事業 (再掲)	※1(1)5 参照 (2ページ)								
◎	5	① ②	美術館展示 (再掲)	※1(1)6 参照 (2ページ)								
◎	6	②	美術品の収集	市	市民局 生活文化部 文化振興課	情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉した。 千葉市美術品等収集審査会(3月23日開催) 寄贈 16件 寄託 65件	美術館の収蔵作品に相応しい 良質な美術品を収集する。	情報収集に努め良質な美術品を収集できるように調査、交渉する。	美術館の収蔵作品に相応しい良 質な美術品を収集する。	総事業費 169	総事業費 392	B

(2)参加型・体験型活動の推進

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
	1	①	花見川区民 ふれあい事業 (花見川区の 歴史と産業を たずねて)	その他 花見川区民まつり 実行委員会 補助金	花見川区 地域振興課	-	-	花見川区の歴史と産業をたずねて 対象:花見川区在住の住民 実施回数:年4回(歴史2回、産業2回) 実施内容: ①区内の工場・施設等の普段見ることができないところを見学し、物が 出来る過程を学ぶ。 ②千葉市の散歩道コースを説明者とともに訪ねる。 ③花見川流域を下流から上流までを散策し、花見川の歴史的背景及 び流域の跡を訪ねる。 募集人数:各回30人	延べ参加者数:120人	総事業費 -	総事業費 480	-
◎	2	① ②	小・中・特別支援学 校鑑賞教育推進事業	市(指定管理) (財)千葉市教育 振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	1 パウル・クレー 東洋への夢 2 瀧澤久仁子コレクション 折りをつづる染と織-タイの美しい布 3 こんな作品あったよ-中学生が選ぶ所蔵作品展 参加校合計数:8校(488人) ※空調改修工事があるため減	鑑賞プログラムを工夫し、子 どもたちに美術により興味を持っ てもらおう。	参加校合計数:20校(1,100人)	鑑賞プログラムを工夫し、子 どもたちに美術により興味を持っ てもらおう。	総事業費 454	総事業費 1,155	B
◎	3	① ② ④	ちば ZOOフェスタ	市	都市局 公園緑地部 動物公園管理課	開催日:11月6日(金)~8日(日)3日間 会場:園内各所 内容: 「動物・動物園に関する文化芸術活動全部受け入れます」を合言葉 に、 ギャラリー部門(写真、絵画、各種クラフト作品の個展ブース貸し) パフォーマンス部門(演劇、音楽他各種パフォーマンス) 映像・デジタル部門(映像作品、デジタルアート作品) の3部門について参加者・参加作品を募った。 出演参加者、参加作品: ギャラリー部門 12団体、パフォーマンス部門 10団体、 映像・デジタル部門 映像9作品 デジタルアート35作品 期間中入園者数:6,140人	新たな動物園の利用方法の提 言の普及浸透	開催日:11月6日(土)~7日(日)2日間 会場:園内各所 期間中入園者: 6,140人 内容: 市民参加による動物・動物園に関する下記カテゴリーの文化芸術活動 の発表 ・ギャラリー部門(写真、絵画、各種クラフト作品の個展ブース貸し) ・パフォーマンス部門(演劇、音楽他各種パフォーマンス) ・映像・デジタル部門(映像作品、デジタルアート作品) ・研究発表部門[新設](小・中・高対象 生物、環境に係る研究発表) ・デジタルアート35作品)	入園者数の増加 (平成21年度 期間中入園者: 6,140人) 出演参加者、参加作品の増加 (平成21年度 期間中入園者: 6,140人) ・ギャラリー部門 12団体 ・パフォーマンス部門 10団体 ・映像・デジタル部門 映像9作 品 ・デジタルアート35作品)	総事業費 1,500	総事業費 2,000	A
◎	4	① ②	小・中学校 音楽鑑賞教室	市	教育委員会 事務局 学校教育部 指導課	実施日: 平成21年6月4・30日・7月3日・10月14・21日・11月25日 10公演 参加校:小学校1校 中学校13校 計14校 来場者数:4,373人	来場者数:6,900人	実施日: 平成22年6月4日・7月1・2日・10月6・7日 10公演 参加校:小学校4校 中学校11校 計15校	来場者数:4,500人	総事業費 8,840	総事業費 8,840	A
◎	5	① ②	小・中学生のための オーケストラ コンサート	その他 千葉市管弦楽団 負担金	教育委員会 事務局 学校教育部 指導課	実施日:平成22年2月6日(土)・7日(日)5公演 会場:市民会館 入場者数:3,589人	入場者数:4,300人	実施日:平成23年2月5日(土)・6日(日)4公演 会場:千葉県文化会館	入場者数:5,000人	総事業費 279	総事業費 168	A
◎	6	① ②	千葉アートネット ワーク・プロジェク ト (千葉大学との連携 事業) (再掲)	※1(2)13 参照 (4ページ)								

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市の関わり	市の関わり								
7	① ③	千葉市民文化大学	専門的、体系的、継続的な講座を8学科実施する本講座と、本講座の冬休みを行う冬季集中講座によって市民の高い学習意欲に応える。	その他 (財)千葉市文化振興財団 ----- 共催	市民局 生活文化部 文化振興課	・本講座 受講者数 1,079人 8学科各18回(計144回) 前期 平成21年5月～7月 後期 平成21年8月～12月 ・冬季集中講座 受講者数 998人 10学科各3回(計30回) 平成22年1月～3月 ・夜間講座 受講者数 64人 4回 平成21年9月～10月 夜間講座年代別受講者割合 20～40代 0%、50代 0%、60代 57%、70代～ 43%	夜間講座について、20～50代の方の受講を促進する。 年代別受講者割合 20～40代 10% 50代 10%	・本講座 募集人数 1,120人 8学科各18回(計144回) 前期 平成22年5月～7月 後期 平成22年8月～11月 ・冬季集中講座 募集人数 1,400人 10学科各3回(計30回) 平成23年1月～3月 ・特別講座Ⅰ 募集人数 500人 1学科各1回 平成22年12月実施予定 ・特別講座Ⅱ 募集人数 20人 1学科各3回 平成22年12月実施予定 ※夜間講座は、講義テーマを変え20年度、21年度と実施してきたが、受講者数が少なく、夜間の講座へのニーズがないため休止にする。新規に市民文化大学周知を図るため、ホールで特別講座Ⅰを、並びに少人数制の集中講座として特別講座Ⅱを実施する。	会場の定員数増により、更なる受講者数の増加に努める。 (平成21年度受講者数: ・本講座 1,079人 ・冬季集中講座 998人)	総事業費 16,275	総事業費 17,592	B	
8	① ③	若葉文化講座	地域の芸術文化の創造拠点として、若葉文化ホールにおいて、若葉区内の大学や市民文化大学の講師による講座を開講する。講座内容は市民に関心の高いテーマを設定して実施する。	その他 (財)千葉市文化振興財団 ----- 共催	市民局 生活文化部 文化振興課	テーマ: 「源氏物語の世界」を覗き見る -光源氏と女君たちの物語- 開催日: 8月20・21・27・28日(午前10時～午前11時30分) 定員: 150人/日 受講者数: 4日間 67人 ・前期 25人 ・後期 17人 計 109人 講座別受講者数: 8月20日 87人、21日 90人、27日 78人、28日 80人	延べ受講者数: 150人	テーマ: 具体的なテーマは未定 音楽をテーマとした演奏と解説 実施回数: 3～4回予定 定員: 150人/日	1回あたり受講者数: 150人	総事業費 288	総事業費 453	B	
9	① ③	千葉市ことぶき大学校	【目的】 高齢者が、それぞれ興味のある分野の学習に取り組むとともに、自主的に運営するクラブ活動などを通じて、仲間づくりや地域活動への積極的な参加を進めていくための学校である。 【対象者】 市内に住所を有し、入学する年の4月1日現在、満60歳以上の方(ただし、本校を卒業した方を除く) 【講座科目】 教養講座(1学年のみ)、地域活動リーダー養成講座及び専門講座の福祉健康(定員58人)、美術(60人)、陶芸(60人)及び園芸(30人)の4学科を設けている。なお、美術及び陶芸は2クラス制である。 【学習期間】 1年間(ただし、平成21年度より在学している者は2年間とする)	市(指定管理) ----- 社会福祉法人千葉市社会福祉事業団	保健福祉局 高齢障害部 高齢福祉課	【教養講座及び専門講座】 内容: 教養講座 市の施策と現状、裁判員制度等 専門講座(美術) デッサン・油彩画の基礎理論と実習及び美術館絵画鑑賞と講義(陶芸) 陶芸の歴史及びひろくろの基礎理論と実習 授業日数: 教養講座 36日、専門講座 36日 学生数: 美術学科: 115人(うち、1学年59人、2学年56人)、陶芸学科: 119人(うち、1学年60人、2学年59人) 入学者数: 美術学科60人、陶芸学科60人 【公開講座】 内容: 大学の事業普及に資するため、一般市民を対象として、美術及び福祉健康の講座を実施 開催日: 美術講座 8月20日(木)・21日(金)10時～12時 会場: ことぶき大学校教室1・2 参加者数: 99人 【多世代交流講座】 内容: 学生と小学校高学年との世代間交流として、陶芸及び園芸の講座を実施 開催日: 陶芸講座A 7月27日(月)・28日(火)10時～12時、陶芸講座B 7月29日(水)・30日(木)10時～12時 会場: 陶芸講座 ことぶき大学校陶芸作業室・実習室 参加者数: 陶芸講座A 95人(うち、小学生46人、学生49人)、陶芸講座B 100人(うち、小学生48人、学生52人)	【教養講座及び専門講座】 内容: 教養講座 市の施策と現状、裁判員制度等 地域活動リーダー養成講座 地域リーダーとは等、専門講座(美術) デッサン・油彩画の実習と講義(陶芸) ろくろの基礎理論と実習 授業日数: 教養講座 29日、地域活動リーダー養成講座4日、専門講座32日 学生数: 美術学科: 119人(うち、1学年60人、2学年59人)、陶芸学科: 120人(うち、1学年60人、2学年60人) 【公開講座】 内容: 大学の事業普及に資するため、一般市民を対象として、美術及び福祉健康の講座を実施 開催日: 美術講座 8月末の2日間 10時～12時 会場: ことぶき大学校教室1・2 参加者数: 100人 【多世代交流講座】 内容: 学生と小学校高学年との世代間交流として、陶芸及び園芸の講座を実施 開催日: 陶芸講座A・B 7月末の2日間 10時～12時 会場: 陶芸講座 ことぶき大学校陶芸作業室・実習室 参加者数: 陶芸講座A 96人(うち、小学生48人)、陶芸講座B 96人(うち、小学生48人)	【教養講座及び専門講座】 入学者数: 美術学科60人、陶芸学科60人 【公開講座】 参加者数: 100人 【多世代交流講座】 参加者数: 96人(小学生48人、学生48人)	総事業費 74,118	総事業費 61,832	B		
10	① ④	ちば市国際ふれあいフェスティバル	外国人市民と市民の交流の場を創出するとともに、国際交流・国際協力団体相互の連携を図る。また、世界の国々や異文化の存在を肌で感じてもらう、国際交流・国際協力への興味・関心を高めてもらう。	その他 ----- 後援	総務局 市長公室 国際交流課	開催日: 平成22年2月21日(日) 会場: Qiball 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザー、世界の料理紹介・販売、体験コーナーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など 来場者数: 2,000人	来場者数: 1,800人	開催日: 平成23年2月下旬～3月上旬 会場: Qiball 内容: ①出展イベント 各団体の活動紹介、バザー、世界の料理紹介・販売、体験コーナーなど ②ステージイベント 世界の民族楽器、民族舞踊など	来場者数: 2,000人	総事業費 943	総事業費 1,160	A	
11	① ④	女性センターまつり	千葉市男女共同参画週間の期間中に、市民団体や市民との協働により、男女共同参画に関する講座や講演会、展示などを行うイベントを開催する。	市(指定管理) ----- 共催	市民局 生活文化部 男女共同参画課	開催日: 平成21年12月12日(土)・13日(日) 会場: 千葉市女性センター 内容: 女性センターまつりを開催(女性センター主催企画: 7、市民企画: 30) 来場者数: 3,231人 ・千葉市女性センターまつり実行委員会との共催にて実施	来場者数の増加 (平成20年度 3,217人)	開催日: 平成22年12月上旬 会場: 千葉市女性センター 内容: 女性センターまつりを開催(女性センター主催企画及び市民企画) 来場者数: 3,300人(見込) ・千葉市女性センターまつり実行委員会との共催にて実施	来場者数の増加 (平成21年度 3,231人)	総事業費 1,308	総事業費 1,695	B	
◎ 12	② ③ ④	千葉市青少年ミュージカル事業	青少年の参加による創作ミュージカルの公演 隔年実施(千葉市民オペラ公演との隔年行事)	その他 ----- 共催・補助金	市民局 生活文化部 文化振興課	開催日: 平成21年10月11日(日) 内容: 赤い靴 会場: 千葉市民会館 大ホール 参加人数: 出演・スタッフ 市内小学1年生～高校3年生 49人 結団式: 8月4日(火) 練習: 8月～10月まで16回実施 入場者数: 741人(1公演実施)	1公演あたり入場者数の増加 (前回平成19年度 1,053人(2公演実施))	隔年事業のため実施せず。	隔年事業のため実施せず。	総事業費 7,021	総事業費 -	B	

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市の関わり								
◎	13	② ③ ④ 子ども演劇体験教室	舞台芸術を体験・学ぶことを通じて、芸術文化の楽しさを感じ、21世紀を担う芸術文化の振興を支える人材の育成を図る。	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化部文化振興課	-	-	・体験教室(全18回) プロの演出家や各専門家を講師に迎え指導を行う。 開催日:6月12・19日、7月28・31日、8月23・30日、9月4・20・23日、10月9・11日、11月3・13・20・23・27日、12月4・11日 会場:文化センター スタジオ ・発表会 体験教室で習得した演技を発表する舞台演劇を開催する。 開催日:12月17日 ゲネプロ 12月18日 本番 会場:文化センター アートホール 演目:シンデレラ	市内文化スケジュールの掲載に努める。	総事業費 -	総事業費 2,846	-
◎	14	② ③ ④ ベイサイドジャズ千葉(再掲)	※1(1)3 参照(1ページ)									
	15	③ 美術館講座(市民美術講座)	美術品についての理解を進め、美術館をより楽しむための講座。学芸員が中心となって、スライドを用いながらわかりやすく説明する。	市(指定管理) 千葉市教育振興財団	市民局生活文化部文化振興課	美術館館長による『北斎漫画』の魅力など5回を開催(空調改修工事により、後半約6か月は休館) 参加者数:396人	参加者数:250人(各回50人)	美術館館長による講座など10回を開催	参加者数:500人(各回50人)	総事業費 0	総事業費 0	B
	16	③ ④ 千葉市民オペラ公演	市民団体が主体となり、公募出演者とともにオペラ公演を実施し、市民に鑑賞機会を提供する。隔年実施(千葉市青少年ミュージカルとの隔年行事)	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化部文化振興課	隔年行事のため実施せず。	隔年行事のため実施せず。	開催日:平成23年3月6日(日) 内 容:History of 千葉市民オペラ 会 場:千葉県文化会館 大ホール 入場者数:1,500人	入場者数の増加(前回平成20年度 1,428人)	総事業費 -	総事業費 16,739	-
	17	③ ④ 市民による第九特別演奏会	市民団体が主体となり、公募出演者とともに第九演奏会を開催し、市民に鑑賞機会を提供する。(3年ごとに実施)	その他 千葉市音楽協会	市民局生活文化部文化振興課	開催日:平成22年2月14日(日) 会 場:千葉県文化会館 大ホール 内 容:第10回市民による第九特別演奏会 参加者:ソリスト4人 合唱団199人 入場者数:755人	入場者数の増加(前回平成18年度 1,145人)	3年ごとに開催する行事のため実施せず。	3年ごとに開催する行事のため実施せず。	総事業費 6,803	総事業費 -	B
	18	④ 千葉公園「写真と親しむ俳句展」(再掲)	※1(2)18 参照(5ページ)									

基本施策3 文化を創造する人材の育成

(1)子どもの文化芸術活動の充実

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市の関わり								
	1	① 明るい選挙啓発作品の募集	ポスター・標語・書き初めの選挙啓発作品を募集して、入賞作品を展示することにより、明るい選挙と投票率の向上を呼びかける。	市	選挙管理委員会事務局	募集期間: 7月1日～9月11日(ポスター・標語) 10月20日～1月13日(書き初め) 10月1日～10月30日(意見感想文) 応募枚数:ポスター55点、標語183点、書き初め 1510点 展示場所:各区役所、きぼーる、生涯学習センター、女性センター 展示期間合計:約3ヶ月 ・意見感想文は、ホームページで公開した。	選挙啓発に有効な作品を募集し、できるだけ多くの有権者に選挙啓発を実施する。	募集期間: 6月中旬～9月上旬(ポスター・標語) 10月下旬～1月中旬(書き初め) 展示場所:各区役所、きぼーる、生涯学習センター、女性センター、中央CC 展示期間合計:約4カ月	市民から選挙啓発作品を募集して入賞作品を展示することにより、各種選挙の投票率上昇を期する。	総事業費 158	総事業費 334	B
	2	① 千葉市青少年ミュージカル(再掲)	※2(2)12 参照(8ページ)									
	3	① 小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業(再掲)	※2(2)2 参照(7ページ)									
	4	① 子ども演劇体験教室(再掲)	※2(2)13 参照(9ページ)									
	5	① 小・中学校音楽鑑賞教室(再掲)	※2(2)4 参照(7ページ)									
	6	① 小・中学生のためのオーケストラコンサート(再掲)	※2(2)5 参照(7ページ)									

(2) 芸術家の発掘と育成

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市	市の関わり								
◎	1	① 千葉市芸術文化新人賞	選考委員会を経て選ばれた千葉市にゆかりのある新進芸術家を表彰する。	市		市民局生活文化部文化振興課	・受賞候補者の推薦を募集(6月1日～9月31日) ・選考委員会を2回開催(10月16日、11月9日) ・受賞者を発表(1月14日) ・授賞式を実施(1月20日) 推薦件数:53件 受賞者数:3人	推薦件数の増加 (平成20年度 30件)	・受賞候補者の推薦を募集 ・選考委員会を2回開催 ・受賞者を発表 ・授賞式を実施	推薦件数の増加 (平成21年度 53件)	総事業費 1,269	総事業費 1,400	A
◎	2	② 新人賞フォローアップ事業	千葉市芸術文化新人賞受賞者等を対象とした支援事業	その他	(財)千葉市文化振興財団 アートウィンド運営企業体	市民局生活文化部文化振興課	①平成17年度新人賞受賞者(粉谷聖)によるバレエ公演「ウィントースペシャル・ガラコンサート」 開催日:平成21年11月29日(日) 会場:千葉市民会館 主催:(財)千葉市文化振興財団 入場者数:250人 ②平成19年度新人賞受賞者(大塚百合菜)による公演「東京フィルハーモニー交響楽団名曲コンサート」 開催日:平成21年12月15日(火) 会場:千葉市民会館 主催:(財)千葉市文化振興財団 入場者数:452人 ③千葉市芸術文化新人賞受賞者出演作品「美しき浜辺の妖精たちへ2010」 新人賞受賞者である舞台芸術家の出演に加え、美術・文芸部門受賞者も参加しての構成を演出し、充実したフォローアップ事業が実施された。 開催日:平成22年2月27日(土) 2回公演 会場:美浜文化ホール 主催:アートウィンド運営企業体 参加者:新人賞受賞者 舞台芸術家 8人、美術系芸術家 3人、文芸系芸術家 1人 入場者数:450人	①入場者数:600人 ②入場者数:650人 ③千葉市の新進芸術家たちのフォローアップとして、表現の場を共に作り上げるにより、千葉市の更なる芸術文化の向上を目指す。	・平成16年度新人賞受賞者(大多和正樹)他による公演(仮)大多和正樹 和太鼓コンサート 会場:文化センター 主催:(財)千葉市文化振興財団 平成14・20年度新人賞受賞者(伊藤亮太郎・高橋梓)他による公演(仮)「伊藤亮太郎&高橋梓室内楽コンサート」 会場:生涯学習センター 主催:(財)千葉市文化振興財団 千葉市芸術文化新人賞受賞者出演作品 会場:美浜文化ホール 主催:アートウィンド運営企業体	①入場者数450人 ②入場者数150人 ③千葉市の新進芸術家たちのフォローアップとして、表現の場を共に作り上げるにより、千葉市の更なる芸術文化の向上を目指す。	総事業費 5,203	総事業費 3,092	B
◎	3	② 舞台芸術家登録制度(アーティストバンク)	舞台芸術家の活動支援と市民への鑑賞機会拡充を目的に、千葉市にゆかりのある舞台芸術家を登録、紹介する制度	その他	(財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化部文化振興課	登録アーティストを具体的に活用できるシステム構築を目指した。 登録アーティスト数: 41人・団体 (内訳)音楽 36人・団体 演劇 1団体 舞踊 1人 その他 3人	登録アーティスト数: 75人・団体	登録アーティストによる自主事業公演等の開催を検討する。	登録アーティスト数: 75人・団体	総事業費 0	総事業費 0	B
◎	4	② アトリウムコンサート	千葉市にゆかりのある優れた音楽団体・音楽家や、将来音楽家を目指している学生などに演奏する場を提供するとともに、年間を通して継続的なコンサートを行い、市民が気軽に本物の音楽に触れる機会を提供することで、千葉市の文化の活性化を図る。また、これにより音楽を通じた生涯学習活動の推進を図るとともに、豊かな市民生活の一助とする。	市(指定管理)	(財)千葉市教育振興財団	教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課	やすらぎのアトリウムコンサート(年4回) ①平成21年6月6日(土) 出演:メゾソプラノ 坂本晶子他2人 ～おいしいたをどうぞ!世界の名曲あれこれ～ 来場者数:264人 ②平成21年10月17日(土) 出演:テノール 飯田康弘他3人 ～はじめてのオペラレクチャー～ 来場者数:254人 ③平成21年12月6日(日) 出演:バリトン 崔 宗宝他1人 ～日本・中国二つの故郷を唄う～ 来場者数:228人 ④平成22年3月13日(土) 出演:ソプラノ 山中 和穂他1人 ～音楽でつづる物語と春の歌～ 来場者数:188人 *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:各回250人	やすらぎのアトリウムコンサート(年4回) ①平成22年6月5日(土) 出演:弦楽四重奏 クアルテット ソレイユ ②平成22年10月2日(土) 出演:リコーダーとチェンバロ等 森吉京子さん他 ③平成22年12月4日(土) 出演:クラシカル・クロスオーバー Beneath the Blueさん他 ④平成23年3月12日(土) 出演:クラシック(フルート等) 新原輝美さん他 *場所はすべて生涯学習センター	来場者数:各回300人	総事業費 268	総事業費 260	B

(3) 文化芸術ボランティアの育成

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体		担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度決算額(千円)	平成22年度予算額(千円)	平成21年度評価
				市	市の関わり								
◎	1	① 舞台セミナー	文化ホールの舞台を活用して、照明、舞台技術などの理解と習得のために実施するセミナー。受講者はセミナー終了後、舞台技術ボランティアに登録できる。	その他	(財)千葉市文化振興財団	市民局生活文化部文化振興課	舞台(照明)セミナー 講座開催日: 全7回 1月30日(土)、1月31日(日)、2月11日(木・祝)、2月13日(土)、2月20日(土)、2月27日(土)、2月28日(日) 受講者数:10人 ボランティア登録者を募集(セミナー受講修了者に呼び掛け) 登録者数:4人	受講者数:20人	全7回の講座を実施 ウラ方ボランティア登録者を募集(セミナー受講修了者に呼び掛け)	舞台技術ボランティア:20人	総事業費 923	総事業費 1,303	B
◎	2	① 美術館ボランティア	公募により採用され、ボランティア研修を受講したスタッフによる事業。美術館の展覧会について講習、自主的な学習をしたボランティアスタッフが、ギャラリートーク、鑑賞リーダーとして児童生徒の案内、ワークショップの企画、実施などの活動を行っている。(無償)	市(指定管理)	(財)千葉市教育振興財団	市民局生活文化部文化振興課	ギャラリートークと鑑賞リーダーの活動を中心に、各種講座等の補助や自主的な企画によるワークショップを実施 活動の視察及び意見交換会を実施 ギャラリートーク:定例 18回・自主67回 鑑賞リーダー:14校・のべ67人(活動ボランティア数) ワークショップ等(自主/運営補助):5件 *鑑賞プログラム「中学生のためのギャラリークルーズ」は、ワークショップ等に含めている(1回)。	鑑賞プログラムを工夫し、子どもたちに美術により興味を持ってもらう。	ギャラリートークと鑑賞リーダーの活動を中心に、各種講座等の補助や自主的な企画によるワークショップを行う。	鑑賞プログラムを工夫し、子どもたちに美術により興味を持ってもらう。	総事業費 233	総事業費 227	B

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
				市の関わり								
◎	3	① 文化ボランティア登録制度	市民による文化ボランティアを登録し、千葉市文化振興財団主催等の事業運営に協力する制度。主に公演時のオモテ方(受付、座席案内等)に従事していただく。	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	・公募(150人程度) 7月 ホームページ、あでは、市政だより等 ・事前研修会 8月2日 参加44人 ボランティア登録者数:122人 ボランティア従事実績: 公演 145人 千葉市民文化大学 252人 ペイサイドジャズ千葉 63人 あでは送付作業 22人 計 482人	ボランティア登録者数: 150人	財団主催事業を中心に、公演のオモテ方として会場案内やチケットの もぎり等の受付に従事していただく。登録者全員を対象に事前研修会 を開催し、公演の仕組み、会場の熟知、受付の仕事に万全を期す。	ボランティア登録者数: 150人	総事業費 114	総事業費 136	B
◎	4	① 施設ボランティア養成研修	施設ボランティアとして活動するにあたって必要となる知識・技術を習得するための研修を行う。 (基礎研修)生涯学習、社会教育に関する基礎的知識取得やボランティア活動の意義・役割等の理解を深めるなど、今後のボランティア活動の基盤をつくる。 (専門研修)活動するにあたって必要とされる専門的知識、技術を習得するとともに、具体的な活動にむけた実践的能力を養う。 ※基礎講座、専門講座ともに修了した者は、生涯学習センター施設ボランティア(まなびサポーター)の登録対象者となる。	市(指定管理) (財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	施設ボランティア養成研修基礎講座 (6月18日~7月9日・全6回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅰ (10月22日~11月19日・全5回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅱ (10月23日~11月13日・全5回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅲ (10月21日~11月18日・全6回) ※場所は全て生涯学習センター 全回出席者: ・基礎講座:18人/24人中(加曾貝貝塚博物館、郷土博物館の受講生数を含む) ・専門講座:8人/13人 ボランティア登録する者の数:12人	全回出席者の増加 ・基礎講座:20人/24人中 ・専門講座:10人/12人中 (平成20年度) ・基礎講座:44人/68人中 ・専門講座:21人/25人中) 研修修了後、ボランティア登録する者の増加 (平成20年度 25人)	施設ボランティア養成研修基礎講座(6月~7月を予定・全6回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅰ(9月以降を予定・全5回) 施設ボランティア養成研修専門講座Ⅱ(9月以降を予定・全8回) ※場所は全て生涯学習センター	全回出席者の増加 ・基礎講座:28人/35人中 ・専門講座:8人/10人中 (平成20年度) ・基礎講座:18人/24人中 ・専門講座:8人/13人中) 研修修了後、ボランティア登録する者の増加(10人) (平成21年度 12人)	総事業費 538	総事業費 536	B
	5	② 千葉市ボランティアズカフェ	ボランティアに興味のある人が、飲み物を飲みながら、気軽に資料を見たり仲間と語り合ったりできる、ボランティア情報の発信拠点 (1)ボランティア情報の提供 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	市	総合政策局 市民自治推進部 市民自治推進課	(1)ボランティア情報の提供(施設利用者数:2,153人) (2)ボランティアに関する相談(相談件数:272件) (3)会議室の提供(会議室利用件数:105件) (4)イベント・講座等の開催(開催回数:10回) ボラカフェサロン 8回 ボラカフェ写真展 2回	施設利用者数の増加 (平成20年度 1,813人)	(1)ボランティア情報の提供 (2)ボランティアに関する相談 (3)会議室の提供 (4)イベント・講座等の開催	(1)ボランティア情報の提供 施設利用者数:2,300人 (2)ボランティアに関する相談 相談件数:300件 (3)会議室の提供 会議室の利用件数:120件 (4)イベント・講座等の開催 ボラカフェサロン 9回 ボラカフェ写真展 2回	総事業費 3,304	総事業費 3,903	B
	6	② ちば生涯学習ボランティアセンター	生涯学習センターにおいて、様々な分野の知識や技能をボランティアで役立てたい人の登録と活動を依頼したい人への紹介および登録者の活動の支援を行う。	市(指定管理) (財)千葉市教育振興財団	教育委員会 事務局 生涯学習部 生涯学習振興課	・登録受付・コーディネート 個人登録者数:220人 団体登録者数:51団体 855人 総登録者数:1,075人 利用件数:618件 コーディネート件数:241件 ・「ほらセンフォーラム」 (第1部 ボランティアセンター登録者によるシンポジウム) (第2部 アグネス・チャンさん講演会) 開催日:11月3日(火) 会場:生涯学習センター 参加者数:290人 ・「ボランティアパーク2010」 開催日:2月15日(月)~21日(日) 会場:生涯学習センター 登録者による展示・ステージ発表・講座開催等 参加者数:4,216人 ・情報紙「ほらセン通信」発行	登録者数・利用件数の増加 (平成20年度) 個人登録者数:157人 団体登録者数: 38団体 577人 総登録者数:734人 利用件数:401件)	・登録の受付・コーディネート ・「ほらセンフォーラム」の開催 ・「ボランティアパーク2011」の開催 開催日:2月6日(日)~16日(日) 会場:生涯学習センター 登録者による展示・ステージ発表・講座開催等 ・情報紙「ほらセン通信」発行 年5回(偶数月)を予定 ・「スキルアップ講座」の開催	登録者数・利用件数の増加 (総登録者数:1200人 利用件数:700件) (平成20年度) 総登録者数:1,075人 利用件数:618件)	総事業費 5,842	総事業費 7,598	B

基本施策4 創造活動を支える場の確保

(1) 創作活動の場づくり

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
	1	① 学校空き教室の有効利用	小・中学校の空き教室を有効的に活用するため、利用調整を図る。	市	総合政策局 総合政策部 政策調整課 教育委員会 事務局 教育総務部 企画課	1 空き教室の状況 (1)平成21年度「空き教室」数 ・小学校:29校(121教室)、中学校:14校(52教室) (2)学校施設での活用状況 ・適応指導教室(4校):朝日ヶ丘小、若松台小、大森小、真砂第三小(H21年4月開所) 8教室 ・教育相談指導教室(1校):緑町小 2教室 (3)学校施設以外での活用状況 ・子どもルーム(62校):教室利用は24校・28教室 ・防災備蓄庫(56校):教室利用は14校・14教室 ・介護予防支援施設(2校) 大宮小(大宮いきいきセンター)2教室 あやめ台小(あやめいきいきセンター)2教室 ・地域開放モデル事業(1校):磯辺第一中学校 2教室 2 「わくわくキャンパス」における有効活用(各学校) ・地域・保護者の方から講師を募り、放課後の子どもたちに多様な活動を行う場として、空き教室等を活用	空き教室活用のための調整を図る。	空き教室活用のための調整を図る。 (「学校施設有効活用の指針(案)」の策定に着手する。)	空き教室活用のための調整を図る。	総事業費 0	総事業費 0	B
◎	2	① ② アーティスト インキュベート	「千葉市文化芸術振興計画」に基づき、あらゆる芸術家に対し、作品の制作や発表、多様な人々との交流の場を提供するため、学校跡施設等を利用し、本市に新たな文化芸術が生まれる活動基盤を整備する。	市	市民局 生活文化部 文化振興課	旧花見川第五小学校跡利用 施設構造改修に係る実施設計委託を実施 関係課長会議(2回) 今後の事業検討(事業休止検討) 担当者会議(2回) 施設構造改修にかかる実施設計及び工事内容の確認・調整 (空調設備・火災報知機等)	22年度改修工事に向けた実施設計及び23年度供用開始へ向けての備品調達・実施要領等の検討	休止	休止	総事業費 427	総事業費 -	B

(2) 既存施設活用の促進

◎	1	① 学校空き教室の有効利用(再掲)	※4(1)1 参照(12ページ)									
◎	2	① ② アーティスト インキュベート(再掲)	※4(1)2 参照(12ページ)									

基本施策5 文化芸術活動への支援

(1) 情報提供機能の充実

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
◎	1	① 文化情報誌「あでは」刊行	千葉市を中心に行われる音楽やイベントなど文化に関する行事の情報を収集して施設ごとに紹介するとともに、千葉市の文化財等に関する情報を発信する。	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	平成21年度よりリニューアル・リニューアル特別号 5月号 規格:A4判 24頁(全頁カラー) 部数:30,000部×1回=30,000部 ・各月号 規格:A4判 20頁(全頁カラー) 部数:毎月20,000部×11ヶ月=220,000部 配布箇所:400 読者アンケート数:2,212通	読者アンケート数 2,000通	規格:A4判 4頁(1色) 部数:10,000部×12ヶ月=120,000部 配布箇所:400	市内文化関係情報の提供の充実を図る	総事業費 18,328	総事業費 1,645	B
◎	2	② 文化情報センターの設置	市民がワンストップで文化情報やチケット購入ができる文化情報センターを設置する。文化情報を収集・展示・発信する文化ライブラリーと、千葉市内のホール等で開催される公演のチケットが購入できるチケットセンターからなる。	その他 (財)千葉市文化振興財団	市民局 生活文化部 文化振興課	昨年度に引き続き、オンラインチケットの予約・販売を実施 また、公演案内コーナーに設置する情報の充実を図った。 チケット取扱件数の増加と公演情報の拡充 チケット取扱実績 取扱公演数:98公演 販売件数:2,349件(全4館取扱件数 14,130件) 全体の16.6%	チケット販売件数の増加と公演情報の拡充 (平成20年度 1,819件)	昨年度に引き続き、オンラインチケットの予約・販売を実施する。 また、公演案内コーナーに設置する情報の充実を図る。	チケット取扱件数の増加と公演情報の拡充 (平成21年度 2,349件)	総事業費 0	総事業費 0	B

(2) 市民と行政の協働体制の確立

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
◎	1	① 千葉市文化芸術振興会議の設置・開催	市民と行政が協働して文化芸術振興を行うための会議を設置し、開催する。	市	市民局生活文化部文化振興課	懇話会の開催 開催日:平成21年5月29日 会場:中央コミュニティセンター 議題:①平成20年度の実施状況について ②平成21年度の実施計画について 出席者:懇話会委員5人・市民局長ほか	1回開催	平成22年度より条例化し千葉市文化芸術振興会議とする。 2回開催予定 ・第1回 開催日:平成22年7月2日 会場:中央コミュニティセンター 議題:①委員長、副委員長の選出 ②「千葉市文化芸術振興計画」について ③「千葉市文化芸術振興計画 進捗状況」について (平成20・21年度実施状況、平成22年度実施計画) ④その他 出席者:文化芸術振興会議委員・市民局長ほか ・第2回 開催日:平成23年1月頃	2回開催	総事業費 65	総事業費 88	B
	2	② 芸術文化団体育成事業	文化団体の育成のため、会場の確保、広報、補助金の交付などの各種支援を行う。	その他 補助金・負担金	市民局生活文化部文化振興課	・芸術文化団体との共催事業(市負担金を交付) 10事業 781千円 参加者数:31,114人 ・芸術文化団体後援事業(補助金を交付) 4事業 400千円 参加者数:2,326人 ・芸術文化団体に対する市長賞の交付 79千円 ・文化団体の申請内容に応じ、会場の確保、広報への協力、補助金・負担金の交付を行った。	参加者数の増加 (平成20年度 33,843人)	・芸術文化団体との共催事業(市負担金を交付) 10事業 870千円 ・芸術文化団体に対する市長賞の交付 80千円 ・文化団体の申請内容に応じ、会場の確保、広報への協力、負担金の交付を行う。	来場者数の増加 (平成21年度 33,440人)	総事業費 26,285	総事業費 24,376	B
	3	② アーティストインキュベーター(再掲)	※4(1)2 参照(12ページ)									

(3) 産・学・官の連携促進

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
◎	1	② 千葉市・大学連絡会議	市内の大学及び短期大学と、本市の課題等について広く意見・情報交換を行う。	市	総合政策局総合政策部政策企画課	千葉市・大学連絡会議幹事会の開催 開催日:平成22年2月17日	幹事会を1回開催	千葉市・大学連絡会議幹事会の開催 開催日:平成22年11月予定	幹事会を1回開催	総事業費 24	総事業費 33	B

(4) 文化振興推進体制の強化

項目	項目	事業名	事業概要	実施主体 市の関わり	担当課	平成21年度実施実績	平成21年度目標	平成22年度実施計画	平成22年度目標	平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)	平成21年 度 評価
◎	1	① 千葉市文化行政推進会議の設置・開催	庁内の文化関連事業を効果的に実施するため、庁内の横断的組織となる文化行政推進会議を設置し、開催する。	市	市民局生活文化部文化振興課	文化行政推進会議幹事会の開催(4月17日、11月19日) 文化行政推進会議の開催(5月17日)	幹事会を2回開催	文化行政推進会議幹事会の開催(5月12日) 文化行政推進会議の開催(6月15日)	幹事会を1回開催	総事業費 0	総事業費 0	B

平成21年度 決算額(千円)	平成22年度 予算額(千円)
全60事業 総事業費 合計 451,651	全59事業 総事業費 合計 394,769 (一部未定)